

◆大会2日目は下記の3つの分科会を開催します。興味のあるテーマにぜひご参加いただき、皆さまと一緒に考えを深める時間にできれば嬉しいです。

※発表者など当日変更になる場合があります。

時間：9:30～11:00

第1分科会	◆家族会の課題と未来について テーマ「家族会の未来をひらく、多様な家族の声と新しいつながり」 趣旨：人口減少・高齢化により家族会が縮小傾向にある現状を共有し、次世代になくために若い世代や支援者の視点を取り入れながら、家族会の役割やあり方を考える機会としたい。 コーディネーター：山口 弘幸氏 / 鎮西学院大学 総合社会学部社会福祉学科 学科長・教授 シンポジスト：家族会：隅谷 和生氏 / 福岡県すずめのお宿 副会長 シンポジスト：家族：辻 英三郎氏 / 長崎げんき会（兄弟姉妹会）会長 シンポジスト：支援者：藤井 修氏 / 長崎県相談支援専門員協会 顧問
第2分科会	◆地域社会との関係性 テーマ「ともに生きるための支援ネットワークの未来」 趣旨：家族依存からの脱却をめざし、本人支援が可能となる地域ネットワークづくりについて考える機会としたい。 コーディネーター：柴原 彩子氏 / 長崎市福祉部障害福祉課 支援係 係長 シンポジスト：家族会：松田 孝氏 / 佐賀県精神保健福祉会 会長 シンポジスト：当事者：中村 さとる氏 / 熊本県精神障がい者団体連合会 副会長 ・べてる式当事者研究研究員 シンポジスト：支援者：吉田 勝博氏 / 地域生活支援センターラム 管理者 シンポジスト：支援者：米満 恭一郎氏 / (医) 栄寿会 真珠園療養所 精神保健福祉士
第3分科会	◆歴史・社会的視点から偏見を考える テーマ「偏見を乗り越えるための学び～記憶を未来の力に～」 趣旨：被爆体験や精神障害の当事者・家族の経験に共通する「偏見」「沈黙」「誤解の歴史」を見つめ直し、記憶を“痛みの記録”で終わらせず、未来の共生社会をつくる力へと変えていく学びの場とする。過去の差別などを理解し、現在の偏見を問い直し、次世代へつなぐ「平和な共生社会」の姿を参加者と共に描く。 コーディネーター：足立 孝子氏 / 長崎国際大学 人間社会学部 社会福祉学科 准教授 シンポジスト：被爆継承者：永井 徳三郎氏 / 長崎市永井隆記念館 館長（永井隆氏 実孫） シンポジスト：家族会：山田 圭吾氏 / (公社) 沖縄県精神保健福祉会 会長 シンポジスト：当事者：美希氏 / NPO 法人長崎のぞみ会 ヒアポーター